

平成29年度

公益財団法人舞鶴市文化事業団の経営状況を説明する書類

(事業の計画に関する書類)

## 目 次

I 事業計画 . . . . . 1

II 収支予算書 . . . . . 5

## 平成 29 年度 事業計画

### 1. 基本方針

舞鶴市文化事業団では、「優れた文化芸術に親しむ機会をより広く市民に提供するとともに、文化芸術の創造活動の奨励及び育成を図り、もって心豊かで潤いと活力に満ちた地域社会の構築に寄与する」ことを目的とした事業を実施してきました。

平成 29 年度も、この目的と舞鶴市文化振興基本指針の理念を念頭に置いて、管理施設の内外を問わず積極的な事業展開を図って参ります。

### 2. 事業内容

#### (1) 豊かな文化芸術環境づくり（鑑賞機会の提供事業）

音楽、伝統芸能、演劇、映画など市民のニーズを反映した様々な分野の優れた舞台公演を実施し、小さな子どもから高齢者まで幅広い年齢層の市民が本物の舞台芸術を身近に鑑賞できる機会を提供します。

ただ鑑賞するだけでなく、市民が参加できるような企画を盛り込み、より身近に文化芸術に触れていただけるような工夫をします。

No.	実施時期	事業名	事業概要	見込み人数
1	7/21(金)	〈(公社)全国公立文化施設協会〉 松竹大歌舞伎 ～中村橋之助改め 八代目中村芝翫襲名披露～	当代切っ手の俳優の貴重な襲名披露公演を身近に鑑賞できる機会の提供。 一谷嫩軍記 熊谷陣屋 一幕 襲名披露 口上 一幕 ほか [関連事業]歌舞伎プレセミナー	1,100
2	9/18(月)	音楽の絵本 ～ズーラシアン ウィンドアンサンブル～	年齢制限を設けず低年齢児から鑑賞できるプロによる吹奏楽の演奏会。	1,000
3	10/29(日)	〈文化庁「劇場・音楽堂等活性化事業」〉 〈地域創造「文化・芸術活動助成事業」〉 文学座公演「坂の上の家」	劇作家 松田正隆による「長崎三部作」の第二作。 ※可児市文化創造センター、サザンクス筑後、長野市芸術館との共同制作 [関連事業]文学座朗読公演	300
4	12/ 1(金)	野村萬斎 狂言の夕べ	狂言方泉流能楽師による狂言会	770
5	9 月	〈(一財)地域創造助成事業〉 公共ホール音楽活性化事業	新進演奏家による演奏会と地域におけるアウトリーチの実施。 [音楽アウトリーチ]	150

6	3/17(土)	舞鶴寄席	伝統芸能である「落語」を身近に鑑賞できる機会として、地元出身落語家にゲストを加えた落語会。 (小ホール)	250
7	申請中	〈文化庁優秀映画鑑賞推進事業〉 市民名画座	東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵の旧作・秀作を借用し上映。(小ホール)	300
8	10/ 9(月)	わらび座ミュージカル「ブッダ」	劇団わらび座と共催	1,000

## (2) 市民による自主文化活動の促進・支援（提案型施設貸与事業）

舞鶴市総合文化会館、舞鶴東コミュニティセンターの各施設を、市民による自主文化芸術活動の発表の場あるいは練習の場として広く市民に開放し、地域住民の文化芸術活動への支援や文化を通じた市民の交流の促進を図り、地域文化のレベルアップと市民の文化活動の育成に努めます。

単なる施設貸与を行うのではなく、舞台・照明・音響等について専門的なアドバイスや指導を積極的に行い、施設を利用する市民と一緒に完成度の高い舞台創りに努め、市民文化の環境づくりを推進します。

また、市民の幅広いニーズに応えるために、各年齢層に人気のある舞台公演や、芸術性の高い舞台公演の積極的誘致に努め、文化の幅の拡大、文化活動の活性化を推進します。

## (3) 地域文化の創造と人材の育成（創造・普及・育成事業）

地域文化の創造と、地域文化の新たな担い手となる人材育成を目的に、中長期的視野に立って、広範囲なワークショップ、アウトリーチを計画しています。次代を担う子どもたちや、ホールを訪れる機会のなかった市民が本物の文化芸術に触れる機会を提供するために、地域や学校にプロのアーティストや、地元の文化芸術団体と連携して講師を派遣します。

ワークショップ、アウトリーチ等を通じて新たな価値観に触れる機会を提供する事業を継続して実施します。

No.	実施時期	事業名	事業概要	会場
1	5/20(土)	〈(公社)全国公立文化施設協会〉 歌舞伎プレセミナー	古典芸能解説者 葛西聖司(元 NHK アナウンサー)による歌舞伎解説。	会館
2	7～10月	〈(一財)地域創造 「文化・芸術活動助成事業」〉 文学座による朗読公演	学校、福祉施設等での劇団員による朗読公演。	学校 地域
3	9月	〈(一財)地域創造助成事業〉 音楽アウトリーチ	子どもたちが、本物の音楽に触れる機会を設けるために、プロのアーティストが訪問して音楽指導。	学校 地域

4	1～2月	〈(一財)地域創造「研修交流事業」〉 リージョナルシアター事業	演劇の表現者(演出家)を講師に、演劇の手法を用いたワークショップを実施。 講師：ごまのはえ	会館 学校
5	通年	舞鶴アート・プログラム・ デリバリー2017	舞鶴市教育委員会、舞鶴市文化協会との連携により、文化芸術団体から講師を選定し、学校や地域へ派遣する教育プログラム。	学校 地域

#### (4) 文化力の向上と地域コミュニティの活性化（参加交流活性化事業）

音楽をはじめとする創作活動を主体的に行っている市民の文化活動を支援するとともに、日頃の成果を発表する機会を提供することにより、市民の文化交流の活性化を図ります。

総合文化会館の前庭や大ホールホワイエの活用、館内を巡るツアー、フルコンサートピアノの最高峰と言われるスタインウェイを、ホールの空き日を利用して市民が試奏できる機会を設けます。

また、和太鼓や合唱など地元の文化団体の自主的な活動の支援に努めます。

No.	実施時期	事業名	事業概要	見込み人数
1	4～5月	憧れのスタインウェイを弾いてみよう！	音響反射板を設置した舞台上でスタインウェイを弾く市民を公募。	40
2	8/ 5(土) 6(日)	劇場のひみつ ～総合文化会館を探検しよう～	普段は見るできない劇場のウラ側を市民に公開。	60
3	3月予定	ミュージック フェスティバル 2018	本市を中心に音楽活動をする個人・団体が出演。プランナーズ'21と出演者が実行委員会を組織し実施。	400
4	通年	コミュニティコンサート コミュニティ作品展	市民文化活動の発表・育成支援の場として開催。プランナーズ'21との連携事業。	1,000
5	6/11(日)	創立60周年記念 第37回木声会合唱団演奏会	文化団体支援事業 木声会合唱団と共催	800
6	6/14(水)～ 6/18(日)	第49回舞鶴市展	舞鶴市・舞鶴市教育委員会と共催 (舞鶴赤れんがパークで実施)	-
7	10～11月	平成29年度 舞鶴市総合文化祭事業	舞鶴市文化協会と共催	-
8	11/ 3(金)	第46回舞鶴市民合唱祭	舞鶴市民合唱祭実行委員会と共催	800
9	11/12(日)	第17回 舞鶴和太鼓フェスティバル	舞鶴和太鼓連盟と共催	1,100
10	12月予定	第31回中丹文化芸術祭 「詩吟と舞」	中丹文化芸術祭実行委員会と共催	400

#### (5) 文化施設の管理運営（公益目的事業以外の施設貸与事業）

舞鶴市総合文化会館、舞鶴東コミュニティセンターの指定管理者として、市民の教養活動や福祉の増進、あるいは興行・商業振興等、公益目的以外でも、舞鶴市民並びにその他の者に各施設を貸与することにより、利用者の利便を図り施設の有効活用に努めます。

また、そのためにも施設・設備等の点検を強化し、「安全」「安心」「快適」な施設を提供していきます。

### 3. 法人の効率的運営と文化振興の推進機能向上の取り組み

#### (1) 情報公開推進への取り組み

ホームページを随時更新し、情報公開の推進、積極的な情報発信に努めます。

#### (2) 市民サービス向上への取り組み

○ チケットのインターネット販売システムの利用を促進するためのより積極的な周知に努めます。

○ 舞鶴市の文化情報検索・発信サイト「まいづる文化情報」の適切な運用を促進し、市内で活動する文化団体や、ホール、公民館等で行われている催し物などの文化情報をタイムリーに提供します。

○ 利用者の意見・要望を集約し、顧客情報の集積・管理することにより、よりよい運営につなげます。

○ 市民が文化芸術へ参加する機会を確保し、参加することにより間接的に施設の事業や運営の支援につながることを目的に設置した「友の会」の円滑な運営を行います。

#### (3) 管理コスト削減への取り組み

極めて厳しい財政状況を踏まえ、事業の実施に当っては創意工夫による経費節減に努めるとともに、各種団体の助成金・助成事業の獲得など支援先の確保に努め、収支状況の改善に積極的に取り組みます。

#### (4) 職員の資質向上について

公益事業を推進する組織の一員として、また、舞鶴市文化振興基本指針を踏まえて、当事業団職員が本市の文化振興を担う職責と公益的使命をより深く自覚し、施設の管理運営だけでなく、本市の文化振興を総合的にプロデュースするという、当事業団に求められている役割に応えられるよう職員の資質向上に努めます。

# 平成29年度 収支予算書

平成29年4月1日 から 平成30年3月31日 まで

(単位：円)

科 目	予算額	前年度補正後 予算額	増減額	備考
I 一般正味財産の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	2,500	2,500	0	
基本財産受取利息	2,500	2,500	0	
② 受取会費	200,000	100,000	100,000	
受取会費	200,000	100,000	100,000	
③ 事業収益	27,684,000	20,826,000	6,858,000	
利用料収益	7,200,000	7,200,000	0	
入場料収益	17,474,000	10,976,000	6,498,000	
実費徴収金収益	2,400,000	2,400,000	0	
手数料等収益	610,000	250,000	360,000	
④ 受託収益	35,390,000	38,742,000	△ 3,352,000	
管理受託収益	33,775,000	33,127,000	648,000	
事業受託収益	1,615,000	5,615,000	△ 4,000,000	
⑤ 受取補助金等	63,653,202	61,802,832	1,850,370	
事業補助金	9,010,000	6,900,000	2,110,000	
管理運営補助金	54,643,202	54,902,832	△ 259,630	
⑥ 受取寄付金	1,000	1,000	0	
受取寄付金	1,000	1,000	0	
⑦ 雑収益	457,000	406,500	50,500	
受取利息	7,000	6,500	500	
雑収益	450,000	400,000	50,000	
経常収益計	127,387,702	121,880,832	5,506,870	
(2) 経常費用				
① 事業費	124,007,560	118,784,243	5,223,317	
報酬	103,000	102,600	400	
給料	31,034,100	34,426,860	△ 3,392,760	
職員手当	10,904,749	9,979,636	925,113	
職員退職給付費用	1,843,200	1,785,600	57,600	
賞与引当金繰入額	3,014,179	2,776,400	237,779	
福利厚生費	6,778,632	7,158,692	△ 380,060	
賃金	54,000	25,000	29,000	
報償費	720,000	1,490,000	△ 770,000	
旅費交通費	270,000	200,000	70,000	
消耗什器備品費	190,000	190,000	0	
消耗品費	1,526,151	1,676,344	△ 150,193	
燃料費	2,178,000	2,940,950	△ 762,950	
食糧費	99,000	114,000	△ 15,000	
印刷製本費	707,000	885,000	△ 178,000	
光熱水費	12,375,000	12,078,000	297,000	
修繕費	1,100,000	1,100,000	0	
通信運搬費	640,500	600,500	40,000	
広告宣伝費	3,565,000	3,065,000	500,000	

(単位：円)

科 目	予算額	前年度補正後 予算額	増減額	備考
手数料	965,000	1,054,000	△ 89,000	
保険料	163,000	235,000	△ 72,000	
委託費	44,002,620	35,095,290	8,907,330	
賃借料	775,760	944,920	△ 169,160	
負担金	100,000	140,000	△ 40,000	
租税公課	503,090	359,460	143,630	
減価償却費	373,803	336,599	37,204	
支払利息	6,776	7,392	△ 616	
雑費	15,000	17,000	△ 2,000	
② 管理費	<b>3,297,826</b>	<b>3,225,069</b>	<b>72,757</b>	
役員報酬	940,000	940,000	0	
給料	1,067,100	1,057,140	9,960	
職員手当	271,868	273,784	△ 1,916	
職員退職給付費用	76,800	74,400	2,400	
賞与引当金繰入額	125,591	115,683	9,908	
福利厚生費	351,402	282,196	69,206	
旅費交通費	10,000	20,000	△ 10,000	
消耗什器備品費	10,000	10,000	0	
消耗品費	72,955	80,808	△ 7,853	
燃料費	22,000	29,050	△ 7,050	
食糧費	5,000	5,000	0	
光熱水費	125,000	122,000	3,000	
通信運搬費	23,500	24,500	△ 1,000	
手数料	1,000	1,000	0	
委託費	117,380	107,710	9,670	
賃借料	4,240	8,080	△ 3,840	
負担金	56,000	57,000	△ 1,000	
租税公課	6,910	5,540	1,370	
減価償却費	1,080	1,178	△ 98	
雑費	10,000	10,000	0	
経常費用計	127,305,386	122,009,312	5,296,074	
当期経常増減額	82,316	△ 128,480	210,796	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
法人税等支払額	200,000	150,000	50,000	
当期一般正味財産増減額	△ 117,684	△ 278,480	160,796	
一般正味財産期首残高	21,875,197	22,153,677	△ 278,480	
一般正味財産期末残高	21,757,513	21,875,197	△ 117,684	
II 指定正味財産の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	10,000,000	10,000,000	0	
指定正味財産期末残高	10,000,000	10,000,000	0	
III 正味財産期末残高	31,757,513	31,875,197	△ 117,684	

(注) 1. 借入金限度額 20,000千円

# 平成29年度 収支予算書内訳表

平成29年4月1日 から 平成30年3月31日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引 消去	合 計
	文化芸術振興事業	施設貸与事業			
<b>I 一般正味財産の部</b>					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益	2,500				2,500
基本財産受取利息	2,500	0	0		2,500
② 受取会費	200,000	0	0		200,000
受取会費	200,000	0	0		200,000
③ 事業収益	22,710,000	4,974,000	0		27,684,000
利用料収益	3,768,000	3,432,000	0		7,200,000
入場料収益	17,474,000	0	0		17,474,000
実費徴収金収益	1,248,000	1,152,000	0		2,400,000
手数料等収益	220,000	390,000	0		610,000
④ 受託収益	27,092,647	6,992,941	1,304,412		35,390,000
管理受託収益	25,477,647	6,992,941	1,304,412		33,775,000
事業受託収益	1,615,000	0	0		1,615,000
⑤ 受取補助金等	52,323,268	9,438,520	1,891,414		63,653,202
事業補助金	9,010,000	0	0		9,010,000
管理運営補助金	43,313,268	9,438,520	1,891,414		54,643,202
⑥ 受取寄付金	1,000	0	0		1,000
受取寄付金	1,000	0	0		1,000
⑦ 雑収益	12,500	342,500	102,000		457,000
受取利息	2,500	2,500	2,000		7,000
雑収益	10,000	340,000	100,000		450,000
経常収益計	102,341,915	21,747,961	3,297,826		127,387,702
(2) 経常費用					
① 事業費	103,065,191	20,942,369			124,007,560
報酬	103,000	0			103,000
給料	25,744,236	5,289,864			31,034,100
職員手当	8,529,375	2,375,374			10,904,749
職員退職給付費用	1,516,800	326,400			1,843,200
賞与引当金繰入額	2,480,418	533,761			3,014,179
福利厚生費	5,060,184	1,718,448			6,778,632
賃金	54,000	0			54,000
報償費	702,000	18,000			720,000
旅費交通費	246,000	24,000			270,000
消耗什器備品費	144,000	46,000			190,000
消耗品費	1,213,557	312,594			1,526,151
燃料費	1,650,000	528,000			2,178,000
食糧費	99,000	0			99,000
印刷製本費	614,000	93,000			707,000
光熱水費	9,375,000	3,000,000			12,375,000
修繕費	759,000	341,000			1,100,000
通信運搬費	578,400	62,100			640,500
広告宣伝費	3,465,000	100,000			3,565,000

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引 消去	合 計
	文化芸術振興事業	施設貸与事業			
手数料	785,100	179,900			965,000
保険料	118,670	44,330			163,000
委託費	38,565,540	5,437,080			44,002,620
賃借料	492,560	283,200			775,760
負担金	84,500	15,500			100,000
租税公課	355,790	147,300			503,090
減価償却費	308,911	64,892			373,803
支払利息	5,150	1,626			6,776
雑費	15,000	0			15,000
② 管理費			<b>3,297,826</b>		<b>3,297,826</b>
役員報酬			940,000		940,000
給料			1,067,100		1,067,100
職員手当			271,868		271,868
職員退職給付費用			76,800		76,800
賞与引当金繰入額			125,591		125,591
福利厚生費			351,402		351,402
旅費交通費			10,000		10,000
消耗什器備品費			10,000		10,000
消耗品費			72,955		72,955
燃料費			22,000		22,000
食糧費			5,000		5,000
光熱水費			125,000		125,000
通信運搬費			23,500		23,500
手数料			1,000		1,000
委託費			117,380		117,380
賃借料			4,240		4,240
負担金			56,000		56,000
租税公課			6,910		6,910
減価償却費			1,080		1,080
雑費			10,000		10,000
經常費用計	103,065,191	20,942,369	3,297,826		127,305,386
当期經常増減額	△ 723,276	805,592	0		82,316
2. 經常外増減の部					
(1) 經常外収益					
經常外収益計	0	0	0		0
(2) 經常外費用					
經常外費用計	0	0	0		0
当期經常外増減額	0	0	0		0
他会計振替額	124,328	△ 124,328	0		0
法人税等支払額	0	200,000	0		200,000
当期一般正味財産増減額	△ 598,948	481,264	0		△ 117,684
一般正味財産期首残高					21,875,197
一般正味財産期末残高					21,757,513
II 指定正味財産の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0		0
指定正味財産期首残高					10,000,000
指定正味財産期末残高					10,000,000
III 正味財産期末残高					31,757,513